

## 第13回焼津市自治基本条例を考える市民会議・感想

※順不同

平成24年10月21日実施（焼津市役所本庁舎6階603号室）

◇むずかしい

◇「ポジティブな表現」とか「デメリットをメリットにかえる発想」など必要で、大切な考え方が発表の中にあり、勉強になりました。

◇今日は難しかった。自らが自治に参加し、自分たちの手で地域の自治を推し進めていく一米子市以前にもおっしゃったのですが、公民館へのNPO等の指定管理者の参加を意味するのでしょうか？

◇条文にならない（成文他）ところでの市民の地域力、人間力を大きくしていくこと、難しいけれどもますます大事さを思っています。

◇今までのメンバーの経験からご意見を伺え、共感や新たな発見がありました。来月からまた3ヶ月欠席しなければならず、会議の進行に追いついていけない状況になるのではと心配しています。最後に、市民の一層の周知が必要と感じています。

◇PI活動で出た意見から、別の角度から条例のあり方、伝えていくべきことが見えたと思うので、もう少しPIの内容を整理していきたいです。

ミニ講座について意見がありましたが、福祉についての内容があるといいなと思います。障害者・高齢者・子育てについて関わる人が多いので。

◇一つの階段を昇り、次の段階へと進むターニングポイントのこの日、どのように進むのかと不安でしたが、ファシリテーターの進め方でなんとなく方向性がついてきたのかなぁと思いました。

◇「今、なぜ必要なのか？」を判り易く、市民に理解され易い言葉の言い方を考えることが大切であることをあらためて感じました。市民会議委員の皆様のご意見がすばらしいです。本日ははじめの一步から一歩進んだような気がしました。

◇いよいよ不安であり楽しみでもあります。PI活動のとき、「ことばだけで実際に実現できるのか？」するどい指摘。願わくば、「ことばの遊びになりませんように」

◇基本条例のビジョンの大切さ、必要性を強く感じた。PI活動のむずかしさ、大切さのみなさんの声が聞けた。

◇PI活動は自分にとって多くの学びができました。条例は、すべて議会の承認が必要なのですか？

◇新しくシャッフルして他の人と多くの意見も聞いたり話もしてみたいです。

◇PI活動に行ってみて、どうして「市に～してほしい」という意見ばかりが出てくるのか不思議でした。今日班で話していて、ああ、みんなには危機感が伝わらないのだなぁということを確認しました。

◇Face book Pageの有効活用を進めていきましょう。

◇むずかしさがよくわかってきた。

- ◇市民案づくりについて、「はじめの一步案」と「PI の成果」をまとめて討議すべきとおもいます。
- ◇初めての子育てグループに参加させてもらいましたが、市民委員の皆さんの焼津に対する熱い思いや、この条例に対する真剣な思いを感じました。
- ◇今までずっと条例ありきで話をしてきたのに、振り返る事ができてよかったです。